

どの社員に投資すべきか？ どの社員を昇進させるか？

ヒトラボ、社員のコンピテンシー評価を可能とする

日本初¹の AI による人材評価ツール、「マシンアセスメント」の提供を開始

～自然言語解析により、従来の 10 分の 1 の時間と費用でタレント人材の発掘、育成、選抜が可能に～

テクノロジーとサイエンスを活用し、新たな人材マネジメントソリューションを開発する株式会社ヒトラボジェイピー（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：永田稔、以下「ヒトラボ」）は、人工知能技術（AI）を活用した人材評価ツール、「マシンアセスメント・フォー・コンピテンシー・デベロップメント（以下「マシンアセスメント」）」を本日から提供します。この「マシンアセスメント」は、AI による社員の人事評価・能力評価システムとしては日本初²のサービスです。

「マシンアセスメント」では、社員に対して、業務遂行能力の高いハイパーフォーマー社員が有する行動特性・思考特性を見極めながら、社員の育成やキャリア開発、評価や選抜に活用する“コンピテンシー・アセスメント”を、ビジネス目標や経営戦略に合わせて、効率的かつ戦略的に行うことが可能です。

AIによる人事評価ツール、「マシンアセスメント」の活用によって、アセスメントにかかる時間と費用が大幅に削減され、どの社員に投資すべきか？ どの社員を昇進させるか？ など、企業におけるタレント人材の発掘、育成、選抜のスピードが格段に上がり、均質な基準での評価判断ができると考えています。「マシンアセスメント」は大企業、中小企業を問いません。また、導入にあたって事前の準備は不要です。

■アセスメントにかかる時間と費用は約 10 分の 1 に

これまで、社員のコンピテンシー・アセスメントの実施にあたって人事コンサルタントなどの専門家に頼っていた企業では、「マシンアセスメント」によって時間や費用を大幅に削減できます。

たとえば、専門家による従来型の方法で、対象者一人にインタビュー型アセスメントを行う場合、大手人事コンサルティング会社で、実施からレポート納品まで約 10 日、費用は 30–40 万円程度かかります。一方、「マシンアセスメント」では、まず対象者にご自身の成果についてテキストに書き起こしていただき、そのテキストをマシンアセスメントで分析する方法をとっています。この方法により、テキストを受け取ってから納品まで最速で 1 日、費用は 4 万円でのアセスメントサービスの提供を可能としました³。社員のコンピテンシーの把握、リーダー人材の発掘、選抜、人材育成のモニタリングが短い時間と安価な費用で可能となります。

¹ 当社調べ。

² 当社調べ。

³ 納期はマシンの稼働状況により変動いたします。費用については別途ボリュームディスカウントがあります。

■AIの活用で、ポテンシャル人材の発掘と人材の育成課題が、“均質な基準で把握”できる

現在、人材の育成が企業においては喫緊の課題となっています。リーダー人材を輩出するためには、そのポテンシャルを持った人材をできるだけ多く発掘（タレント・マイニング）し、定期的に育成のモニタリングを行うことが必要になります。しかし、従来の人材の発掘やモニタリング方法では、社内に専門家がないため、均質な基準での発掘や、個々の人材の市場競争力という観点での発掘が難しいという課題があります。一方、その課題を克服しようと、外部のアセスメントの専門家を雇う場合は高額な費用が発生し、多くの人数のアセスメントが行えず十分な人材発掘が行えないという別の課題がありました。

このような課題に対し、これまで約1万人の人材の評価、発掘、育成のアセスメントを行ってきたヒトラボは、そのアセスメントノウハウをAIに学習させ、成果を記した文章から、該当者が持つビジネスコンピテンシーを、自然言語処理技術を用い30余種類に分析、可視化するツールを開発することに成功しました。

事前にAIにハイパーフォーマーの行動特性を学ばせているため、現場のしがらみのない状況で、市場競争力という観点から“均質な基準”で評価し、ポテンシャル人材、タレント人材の発掘を行うことができます。また、30余種類のビジネスコンピテンシーの偏りや強弱レベルが社員一人一人について、ビジュアル化されたレポートを見られるため、育成課題も直観的で容易です。導入にあたっての事前の準備は不要で、すぐにお使いいただけます。

■開発者について

「マシンアセスメント」は、ヒトラボの代表取締役社長であり、立命館大学大学院経営管理研究科の教授でもある永田 稔（ながた みのる）とモナッシュ大学マレーシア校ビジネススクール准教授、ニューロビジネス研究所所長であるヒトラボ取締役 渡部 幹（わたべ もとみ）がコンセプトとベータバージョンを作り、ヒトラボソーシャルアーキテクトである村上 朋也（むらかみ ともや）が実用化に向けての開発、実装を進めました。

本日から提供を開始する「マシンアセスメント・フォー・コンピテンシー・デベロップメント」は、自然言語処理技術をメインとした「バージョン1」ですが、随時、アップデートを進め、バージョン2では対話型システムを提供していく予定です。ヒトラボは、引き続き高い成果と生産性を実現する人材づくり、組織づくりをサポートしてまいります。

<ヒトラボジェイピーについて>

ヒトラボジェイピーは、コンサルタント、心理学者をはじめとする、ヒトに関わるプロフェッショナルによって結成された働く人々と次世代の人材を応援するプロジェクトチームです。ヒトラボジェイピーでは、企業の「働き方改革」対応をサポートし、単純な労働時間短縮に留まらず、経営リスクを低減し競争力を強化するためのソリューションを開発しています。これらのツールは、従来のツールでは実現できなかった、現場に直接作用する多くの工夫をこらしています。また、大手企業が提供する同様のサービスと比較し、企業規模に応じた柔軟かつローコストでの導入が可能です。

ヒトラボジェイピーが開発した職場の残業体質診断ツール「チェンジ」が「第6回日本 HR チャレンジ大賞」（2017年）（後援：厚生労働省、株式会社東洋経済新報社、株式会社ビジネスパブリッシング、ProFuture 株式会社）にて、66事例の応募の中から奨励賞を受賞しました。

ヒトラボジェイピーWebサイト：<https://hitolab.jp>

【「マシンアセスメント・フォー・コンピテンシー・デベロップメント」についてのお客様からのお問い合わせ先】

E-Mail: contact@hitolab.jp